



犬に 咬まれない ために

絵本の中えほん なかでは 犬は 楽しくて やさしい ともだちだ。
でも 本当は オオカミの血ほんとうをひく どうぶつで
おやぶん・こぶんの かんけいだけで ともだちの かんけいは
ないんだ。

きみが 犬のいぬことを かわいいと 思っても きみのことを
ともだちとは 思わない 犬もいるよ。

きみの ことを てきだと 思っおもて こうげき してくることも
あるんだ。

犬には、いろいろな せいかくが あります。
せいかくは、見た だけでは わかりません。



おだやか



きょうぼう



おとなしい



こわがり

おうちのかたへ

犬にとって、小さな子どもの動きは、楽しいおもちゃに見えて
てしまいます。

それにより、興奮した犬が、子どもを襲うという事故が起こ
ることもあります。

逆に、何をなにするか分わかからない小さな子どもに対して、恐怖ころや
驚おどろきを感じかんじてしまう犬もいます。

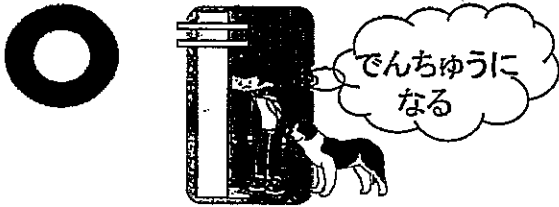
それにより、びっくりしたり、おびえた犬が、子どもを咬かん
でしまうこともあります。

これらは、大人が十分に注意していれば、
避けることができます。

犬に 咬まれない ために

まもること

- 1 犬のほうから近づいてきたら
目を合わさず うごかない。



- 2 あなたの親に 聞いてから
犬にさわる。



- 3 飼い主に 聞く。



- 4 のら犬を見かけたり、行動が
あやしい犬 (飼い主のいない こわい犬など)
を見かけたら、すぐに大人に
知らせる。

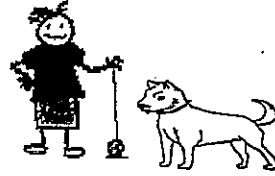


- 5 もし、咬まれたら、すぐに
大人に知らせる。

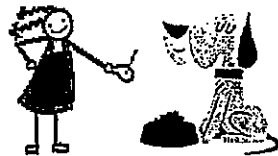


いけないこと

- 1 知らない犬に 近づく。



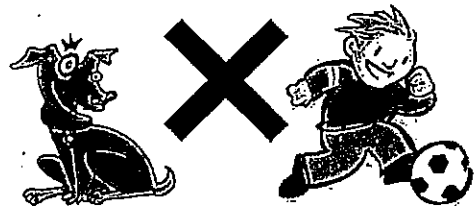
- 2 食事をしている犬に
近づく。



- 3 生まれた子犬と
いっしょにいる犬に 近づく。



- 4 犬の前を走る。



- 5 ねている犬を 起こす。

